

広報



ごしよがわら

発行所
五所川原市役所
352号

昭和50年5月15日

印刷 日刊民友新聞社

市の人口
51,764人

男 24,996人
女 26,768人

世帯数 13,647

(昭和50年4月1日現在) 住民基本台帳から



緑の森に 小鳥の家

さる5月10日は「愛鳥週間」。五所川原ボプラ会(下山正一会長)は、愛鳥週間にちなんで、さる5月9日、市内の遊園地など8個所に59

個の巣箱を取り付けました。この日は、子供たちに愛鳥精神を育てようと末広町の聖心幼稚園にも小鳥の家をプレゼント、ボプラ会のみなさんといっしょに巣箱を取り付けていました。

は、金融引締政策執行のなかによりながら農機具等の導入を中心とした高資金需要のため、最終的には七九億円に増額補正され、これを完全に消化するという高水準の実績を示していた。

ひき続き、五〇年度に於ては八五億円の枠を設定、

じょうとさくらの活着状況をたしかめながら登庁したが、緑とあかの配色が思ったよりあざやかに浮き出していた。

役所前から阿部蔭工観光課長、山田都市計画課長と共に目下整備、補植中の新宮団地、松島団地、平和町と牧水公園、成田山沼等についてそれぞれ現地での検討をしたが、こころでひと雨ほしいという祈りのような

市長日記

五月二日 (晴)八時に 来客と話をすませた後 国体道路に 植え付けし た紅しょう

漸増する資金の需要に 대응するが、ただ前年農機具の資金需要が全体の五七%と高く、これでは過剰投資になりかねないので、新年度では個人の大型農機具利用を共同利用に置きかえる方向を打ち出し、従って目標を五〇%台に下げることにして、国の主要食料基地として高生産性農業の展開には前向きにすみたいものである。

終って、県住宅供給公社に新宮団地の植樹の打ち合せをし、県庁ではまず篠田地方課長にお会いしてから佐々木環境衛生課長、山田民生部長、一瀬出稼対策室長、佐々木国民年金課長、山内管財課長にそれぞれお会いし、衛生処理場、出稼問題、国民年金保養センター、菊ヶ丘運動公園等について打ち合せと陳情をくりかえす。

婦路、フラワーセンターに立ち寄り桜の開花状況を視察したが、八重の花、梅は全く「可憐」そのものであるが、雪と害虫の被害がひどく、今年からの管理事務所の活躍を期待したい。最後に、選挙管理委員長をやられた松野木の長尾秀作氏のお宅にお悔みに参上し六時半帰宅。

ひき続き、五〇年度に於ては八五億円の枠を設定、



賑わう「ちびっ子農園」

早く芽をだせ ちびっ子農園が開園

自然に親しみながら心身をきたえよう、という、こととして二回目の「ちびっ子農園」がさる四月二十七日、毘沙門の広域新農業センターで大勢のちびっ子が参加して開園しました。ことしの、「ちびっ子農園」は、百二十区画(一五平方町、三十平方町)の二種

自然に親しみながら心身をきたえよう、という、こととして二回目の「ちびっ子農園」がさる四月二十七日、毘沙門の広域新農業センターで大勢のちびっ子が参加して開園しました。ことしの、「ちびっ子農園」は、百二十区画(一五平方町、三十平方町)の二種

に八十人と一団体のちびっ子たちが参加。市「太陽と雪の課」職員と父兄に引率されたちびっ子たちは、開園式で佐々木市長から、「秋の収穫までがんばろう」と励まされたことし、割り当てられた区画にさっそくクワを入れました。

よろしくお願ひします 新行政連絡員決まる

- 五所川原地区 木村久造、江良善五郎、岩谷善一、気田勝治、神美登、斉藤竹三郎、宮本清蔵、藤田留作、工藤次栄、井沢権雄、斉藤隆、石井権次郎、福土孝一、松本一雄、小野清茂、黒滝嘉一郎、葛西專造、松野富夫、笹田義美、藤森正夫、横村芳夫、毛内金次郎、飛島泰、葛西惣吉、金沢定雄、小田桐六右エ門、唐牛行雄、白取与太郎、福士周蔵、小田桐惣市、前田貢、野呂甚助、堀内学郎、佐々木昭市、三浦行一、
- 湊地区 横山金弥、金沢寛、新宮団地 林一夫、瓜田イツ子、松本政喜、原田ヒロ、松島団地 木村昂悦、長尾与広、沢村繁、葛西勇三郎、加藤清則、白川久夫、能登谷ヤエ、鈴木久蔵、中川地区 秋田雄策、藤森作太郎、館山雄二郎、藤森九郎右エ門、上見
- 又、外崎正雄、奈良岡賢一、小笠原俊正、原定五郎、七和地区 堀内謙司、福士信悦、斉藤亥之、斉藤勇、新谷啓一、三上行夫、阿部義爾、阿部忠治、斉藤ソノエ、伊藤武雄、長橋地区 秋田善吉、三上長幸、小田桐利雄、小笠原亀五郎、須藤留四郎、成田秀四郎、
- 前田勘四郎、鳴海実、野宮盛夫、横山政吉、秋元由蔵、大久保十三、岩田政吉、笠井正昭、竹林秀逸、太田寅一、佐々木甚三郎、坂本長蔵、田中正雄、岩田勝政、松島地区 毛内勝次郎、高橋一二郎、佐々木嘉四郎、太田一三、清野敏夫、吉村嘉右エ門、新谷良一、荒関肇、小野清美、三浦権一、小野徳右エ門、伊藤善吉、平山茂雄、渋谷武則、工藤義春、太田平造、工藤豊太郎、猪口権太郎、毘沙門地区 沢田嘉四郎、太田藤太郎、成田勇三、佐藤勲、山口吉太郎、増田光信、猿賀金蔵、木村千代作、三好地区 川浪正造、成田金一、小林二三、一戸兼春、工藤真四郎、一戸良秋、乗田兼五郎、三浦正義、小笠原清衛(敬称略)

ゴミ、ドロ、掃運動 下平井町、町内ぐるみで



市から、「環境整備モデル町内」に指定されている下平井町町内会(宮本清蔵会長)は、さる四月二十日町民ぐるみのゴミ掃運動をおこないました。この日は、町内の主婦や商店主など二百五十人が参加、三班に分かれて側溝や下水路の泥を上げたり、歩道のゴミを掃きました。

市から、生活環境課の職員に佐々木市長も応援に駆けつけ、五十袋の麻袋に詰めたゴミ、泥を三台のロードパッカーで運搬仕上げに消毒剤を散布し、半日がかりで見違えるようにきれいになりました。

生活環境
パトロール本部
住みよい環境づくりに

踏切でのいったん停止、左右の確認は必ず実行するようにしましょう。
(秋田鉄道管理局)

5 1414

踏切事故防止

ことしも雪解けとともに農作業の季節となり、踏切を横断する機会が多くなります。昨年度の踏切事故の第一号も耕耘機による事故で、しかも本人が死亡するという、いたましい事故でした。

五所川原

「鎌谷橋」5月末に完成

県道、福山～五所川原線の旧十川にかかる「鎌谷橋」のかけ替え工事がほぼ終わり、5月30日には完成します。

「鎌谷橋」は、昨年九月初旬から総工費8千80余万円を投じて着工したコンクリート永久橋。橋の延長37.8m。車道7m。車道の両側にそれぞれ2m幅の歩道も完備しました。



昨年の「おはようサイクリング」

毎月第1、第3日曜日

市サイクリング協会（吉岡良三会長）では、ことしも五月から九月までの毎月第一、第三日曜日に、「おはようサイクリング」をおこないます。どなたもお気軽に参加してください。

▽集合 毎回午前六時まで、市庁舎前「お祭り広場」にお集り願います。

参加者は「スポーツ傷害保険料（年間百円）」を納めていただきます。

お気軽に参加を

おはようサイクリング

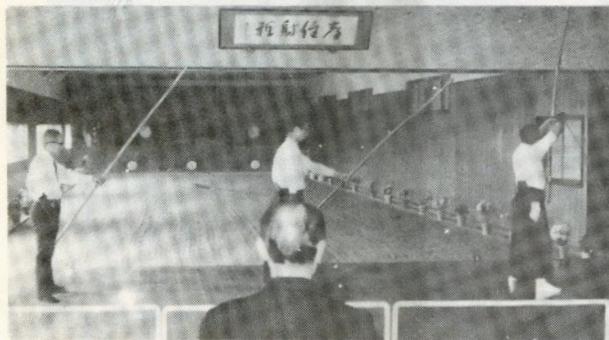
ほぼ完成した「鎌谷橋」



新着図書のご案内

(2. 歴史)

県高校地方史研究会	青森県の歴史散歩	49	山川出版社
河部利夫	世界人名事典(東洋編ほか)	4	秋田書店
さ、え、ら書房	少年少女のための日本史の目(全20巻)	4	さ、え、ら書房
日経新聞社	私の履歴書(15巻)	4	日経新聞社
防衛庁	大本営海軍部聯合艦隊	4	朝雲新聞社
佐々木潤之助	天下統一と民衆大日本人辞書(全5巻)	4	三省堂
渡辺ひろし	日本の歴史(全5巻)	4	学習研究社
加太こうじ他	明治、大正、昭和世相史	4	社会思想社
松本清張	遊古疑考	4	新潮社
児玉幸多	近世農民生活史	4	吉川弘文館
木戸田四郎	維新黎明期の豪農層	45	塙書房
新野直吉	古代東北の開拓	4	〃
安良城盛昭	太閤検地と石高制	48	NHKブックス
荒川久治	信州の職人	49	第一法規
法政大学	日本人物文獻目録	4	平凡社
鈴木良一	日本中世の農民問題	4	校倉書房
宮本又次	藩社会の研究	4	ミネルヴァ書房
県教委	五戸バイパス関係発掘調査概報	4	県教委
保存会	高橋城史研究第1集	4	〃
防衛庁	陸軍航空の軍備と運用	49	朝雲新聞社
県教委	東北縦貫自動車道関係遺跡分布	50	〃
斎藤喜博	君の可能性	49	筑摩書房
池田大作	私のソビエト記行	50	〃
防衛庁	中国方面海軍作戦	4	朝雲社



「市民弓道教室」開く
毎週火、土曜日です

市教育委員会主催の五十年年度の「市民弓道教室」は五月十三日から七月二十九日まで、毎週火曜日と土曜日の午後七時から九時まで三道会館で開かれています。五所川原弓道会の会員が親切に指導いたしますのでお気軽においでください。弓具は、道場に備えつけのものがありますので、高校生以上の方ならどなたでもどうぞ。

◇お申込み先
市中央公民館（電話⑤二三二五番）
五所川原弓道会（電話⑤一〇八三番）

巡回無料成人
病検診

簡易保険郵便年金事業団では、簡易保険の加入者を対象に、「無料巡回成人病検診」を次の日程でおこないます。

定員は、五十人です。

▽とぎ 五月二十九日

▽ところ 三道会館

▽受付時間 午前九時から十時まで

▽対象者 四十歳以上の方（病氣、療養中と通院加療中の者を除く。）

検診項目 血圧測定、心電図、検尿、コレステロール測定、胸部、胃X線検査の順におこないます。

お知らせ



都市計画区域が拡大

国土利用計画法の施行に伴ない一定規模以上の土地取引(都市計画区域五千平方メートル以上、それ以外の区域二万平方メートル以上)は届出制になっていることはご承知のことと思いますが、今回市の都市計画区域の変更が行なわれ、従来より都市計画区域が拡大されました。



で届出もれのないよううにお願いいたします。また都市計画法の一部改正により(昭和50年4月1日)開発許可制度が新設され、都市計画区域内の土地

以上、ただし第2種特定工業物の建設のための場合一万平方メートル以上の開発行為については開発許可の対象となるのでご留意願います。詳細は市情報課へお問い合わせ下さい。

長寿ほう彰金 22日から支給

市では、例年実施している長寿ほう彰金をことしも五月二十二日から支給します。

対象者は、明治三十三年以前に生まれたおとしよりで、対象者には五月二十一日までにハガキで通知します。

市では、十分対象者をは握したつもりですが、もし対象者のなかで五月二十一日までに通知書の届かない場合は、市福祉事務所福祉係までご連絡ください。

市庁舎の周りを清掃

わかさ会のみなさん

寺町岩木町町内会のみなさん(工藤みつゑ会長、婦人部)は、さる四月二十七日の朝、市庁舎周辺の清掃奉仕をしました。この日は、小雨のぼらつくあいにくの天気でしたが朝五時すぎから六十人のお母さんたちが奉仕に参加。雪解け後で汚れていた市庁舎前の「お祭り広場」や庁舎裏の提防下、市民文化会館の前庭を、ホウキで掃いたり、側溝の泥をあげ樹木の手入れをしました。また、岩館助役も応援に駆けつけ、主婦たちの早朝の清掃奉仕にねぎらいとお礼の言葉を述べました。

第14回 作文コンクール作品募集

応募方法
郵政省では、全国の小・中学生のみなさんを対象に例年のとおり「簡易保険の作文コンクール」を行います。昨年は、四六、〇〇〇人のみなさんが応募されました。「応募方法」をよく読んで、ふるって応募してください。

応募資格 小学校五・六年生
中学校一・二・三年生
課題 次のど

- ① 「簡易保険」またはこれと関係のあるもの。
- ② 自由題
- 長さ 四百字づつ原稿用紙五枚以内。
- あて先 近くの郵便局へ持参してください。
- しめきり 昭和五十年六月三十日
- 賞
- ① 地方コンクール、郵政局長賞・知事賞・九大市長賞
- ② 中央コンクール、郵政大臣賞、文部大臣賞、簡易保険局長賞、簡易保険郵便年金福祉事業団理事長賞

断線にご注意

電力会社からお願い

停電させぬため電力会社では平素巡視点検と保守に万全をつくしてはおりますが、それでも絶対停電がないとは申せません。特に暴風シーズンは憂慮されます。ですからこれに備えて懐中電灯や太めのロウソクなどはぜひ用意してほしいものです。

強風などで断線した電線にはめつたにさわってはけません。人通りの多いところだつたら適当によせてすぐ電力会社に連絡することです。

これから煙突のとりはずしや雪囲いのとりはずしを迎えますが、近くの電線には十分注意して断線や感電などしないようにしましょう。(東北電力)

市政ダイヤル

市政についての 行事や予定は



⑤ 4321



(敬称略)

「善意銀行」預託者

(二月・四月まで)

成田あゆ美、飯詰日赤奉仕団、工藤金蔵、今由香里、山崎ひとし、市内女子高校生(三人)、瓜田廉二、工藤功、金木高校16HR一同、櫛引留吉、除厄祈願祭刺余金、古館一洗、山内宜貴、秋田公、成金建設、荒閑靖栄、三上儀雄、中三株式会社、市青協

賞(奨励賞) 学校賞
◎応募者全員に参加賞をおくりします。
入選発表 ①地方コンクールは昭和五十年八月
②中央コンクールは昭和五十年十月
入選者には学校を通じて通知し、賞状、賞品をお渡します。
主 催 郵政省
協力団体 文部省、各都道府県および九大市、各都道府県および九大市、各都道府県教育委員会、日本放送協会、簡易保険郵便年金福祉事業団等